



## ネット社会を歩む子どもたちを守るために

このところ寒さ厳しい日が続きます。しかし、東大淀小の子ども達は元気いっぱい！昼休みには、たくさんの子が校庭で遊ぶ姿が見られます。まさに、子どもは風の子ですね。

さて、1月19日に、伊勢警察署の方に来ていただき、5・6年生を対象に、「ネットトラブル防止教室」を実施いたしました。子どもたちがタブレット端末やスマートフォンを自在に使いこなす姿は頼もしくもありますが、その一方で、判断力が未熟なままトラブルに巻き込まれてしまうリスクも年々高まっています。



今回の教室では、特に以下の「4つの落とし穴」について具体的に学びました。ご家庭でも、ぜひお子様と一緒にネットの歩き方を振り返るきっかけにいただければ幸いです。

### 1. オンラインゲームの「課金」に注意

ゲーム内のアイテム購入など、軽い気持ちでのボタン操作が、後に高額な請求へとつながるケースが増えていきます。「ゲームの中のお金」は「現実のお金」であるという金銭感覚を、小さいうちから養うことが大切です。

### 2. 画面の向こうの友達を傷つけない

SNSやチャットでの言葉遣いは、対面よりも攻撃的になりがちです。顔が見えないからこそ、相手を思いやる想像力が必要です。「自分が言われて嫌なことは、絶対に書かない・送らない」。このシンプルなルールが、トラブルを防ぐ最大のブレーキとなります。

### 3. 「SNSの友達」は、本当の友達か？

ネット上で知り合った相手に、名前や住所、学校名などの個人情報を教えることは、犯罪に巻き込まれる一歩手前の大変危険な行為です。「ネット上の『良い人』が、現実でも『悪い意図』を持って近づいている可能性がある」という危機感を、繰り返し伝え続ける必要があります。

#### 4. 「フィルタリング」は、子どもを守る鎧（よろい）

子どもたちが有害なサイトや犯罪の入り口に触れないよう、スマートフォンやゲーム機には必ずフィルタリング（閲覧制限）を設定してください。これは子どもを縛るためではなく、「未熟な判断力ゆえの失敗から、子どもを守る」ための、大人の大切な責任です。

インターネットの世界は、使い方一つで「宝箱」にも「凶器」にもなります。学校でも継続して情報モラルの指導を行ってまいります。最も身近な大人である保護者の皆様と私たちが手を取り合い、子どもたちの安全なデジタルライフを見守っていただければと願っております。

## 浄化槽の大規模工事について

東大淀小学校の浄化槽が老朽化しており、12月末から3月中旬まで大規模な工事をしております。できる限り教育活動に支障をきたすことがないように考えていますが以下の点でご理解をお願い致します。

- ・職員駐車場スペースが狭くなりますので、子どもの送迎をされる場合、ご不便をおかけします。
- ・子ども用のトイレが1～2週間ほど、使えなくなります。その間は、仮設トイレを設置させていただきます。2月ぐらいの予定です。
- ・運動場にも工事車両が入ります。工事場所と遊んでいい場所をバリケードなどで、はっきりわかるようにします。
- ・放課後の遊びについては、教員の見届けが難しいので、運動場の使用を禁止する時もあります。



ご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

## 学校評価アンケートにご協力お願いします！

1月26日（月）～2月1日（日）まで、本校の今年の一年間の歩みを振り返り、来年度をより良いものにするために「保護者アンケート」を実施いたします。

「学校のここが良くなった」「ここはもう少しこうしてほしい」「子どものこんな姿が気になる」など、皆様が日頃感じていらっしゃることを、ぜひ「生の声」としてお聞かせいただけないでしょうか。

皆様からいただく言葉は、私たち教職員にとって、これからの進むべき道を照らす大切な道しるべとなります。お忙しい中、お手数をおかけして大変恐縮ですが、肩の力を抜いて、率直な思いを届けていただけますと幸いです。

子どもたちの笑顔があふれる学校を、これからも皆様と一緒に創り上げていきたいと願っております。どうぞよろしくお願い致します。